

院内がん登録

がんセンター 越智 恵



2015年分の「院内がん登録」の集計結果をご報告いたします。

院内がん登録は、病院で診断、治療された全ての患者さんのがんについての情報を、診療科を問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。がん検診で見つかった患者さんが多いのか、それともほかの病気でかかっているうちに発見された患者さんが多いのかなど受診までの経過の違いや、がんの種類別の違い、あるいは手術の数が多いか少ないかなど病院のがん診療の特徴を把握するために定期的に行われています。

登録対象 入院外来を問わず、下記の期間中、新たに受診・診断・治療の対象となった腫瘍

期 間 2015年(平成27年)1月～12月

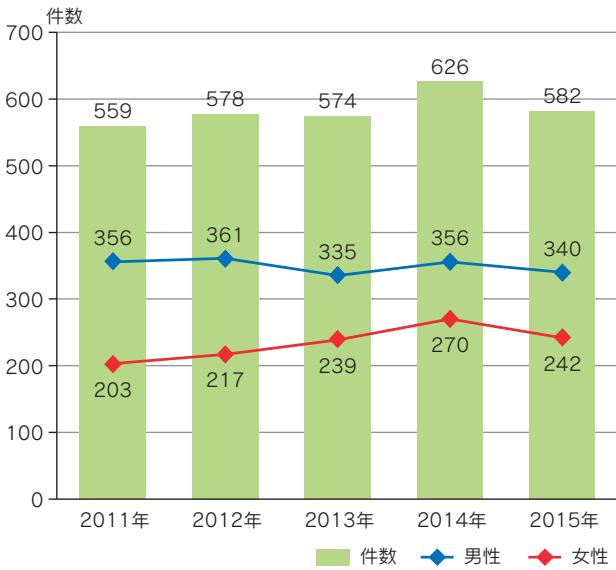
登録件数 全登録数593件のうち、症例区分8その他を除く ※集計対象件数：582件

※国立がん研究センターがん対策情報センターが実施する全国集計において症例区分8その他を除外したデータを集計対象と定義しています。症例区分8とは、自施設において診断もしくは治療が行われていない症例が分類され、代表的なものにセカンドオピニオンがあります。

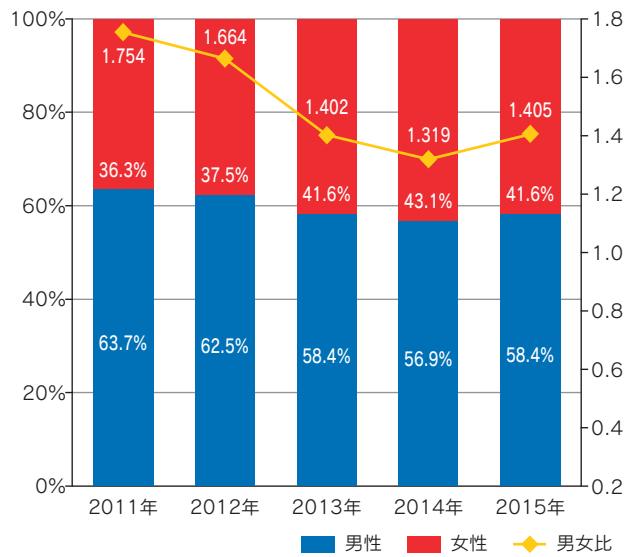
◆がん登録件数は医療機関で診断、確認された症例数であり、がん発生数罹患数とは異なります。同一症例が他の医療機関でも重複登録される場合があることから、場合によっては両者に大きな差が生じることがあります。

◆個人情報につきましては、法令および厚生労働省のガイドラインに基づき適正に取り扱い、保護・管理を行っています。

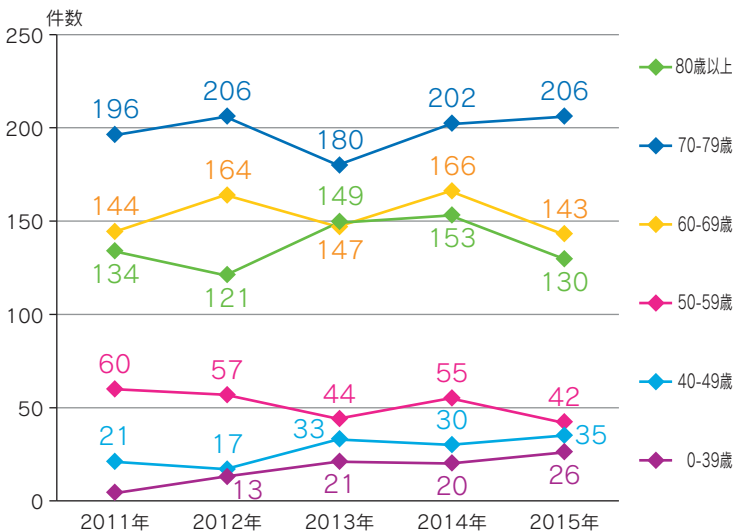
●登録数の年次推移



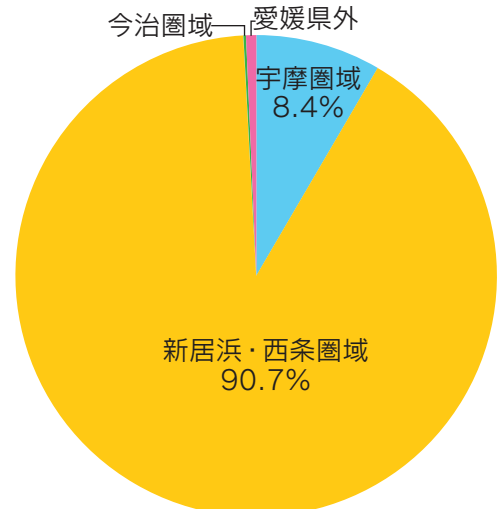
●男女比の年次推移



●年齢別登録数の年次推移



●診断時住所別の登録割合(2015年症例)



● 部位別登録数 (5件未満は非表示としています)

2015年症例の部位別登録数上位5部位は、大腸(75)、胃(63)、肺(59)、前立腺(58)、乳房(53)です。

診断年	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年	
	登録数	%	登録数	%	登録数	%	登録数	%	登録数	%
口腔・咽頭	5	0.9%	6	1.0%	11	1.9%	7	1.1%	6	1.0%
食道	10	1.8%	11	1.9%	9	1.6%	13	2.1%	12	2.1%
胃	77	13.8%	74	12.8%	64	11.1%	73	11.7%	63	10.8%
結腸	61	10.9%	47	8.1%	48	8.4%	60	9.6%	56	9.6%
直腸	27	4.8%	22	3.8%	20	3.5%	34	5.4%	19	3.3%
肝臓	32	5.7%	41	7.1%	29	5.1%	31	5.0%	35	6.0%
胆嚢・胆管	10	1.8%	13	2.2%	16	2.8%	15	2.4%	11	1.9%
膵臓	18	3.2%	19	3.3%	16	2.8%	18	2.9%	28	4.8%
喉頭	5	0.9%	-	-	6	1.0%	-	-	-	-
肺	85	15.2%	88	15.2%	69	12.0%	84	13.4%	59	10.1%
骨・軟部	-	-	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
皮膚	16	2.9%	17	2.9%	28	4.9%	26	4.2%	20	3.4%
乳房	55	9.8%	49	8.5%	62	10.8%	58	9.3%	53	9.1%
子宮頸部	-	-	-	-	20	3.5%	31	5.0%	27	4.6%
子宮体部	0	0.0%	0	0.0%	12	2.1%	9	1.4%	10	1.7%
卵巣	-	-	0	0.0%	-	-	10	1.6%	0	0.0%
前立腺	54	9.7%	46	8.0%	53	9.2%	71	11.3%	58	10.0%
膀胱	24	4.3%	30	5.2%	21	3.7%	21	3.4%	31	5.3%
腎・尿路	19	3.4%	19	3.3%	14	2.4%	22	3.5%	26	4.5%
脳・神経	7	1.3%	13	2.2%	13	2.3%	0	0.0%	5	0.9%
甲状腺	18	3.2%	19	3.3%	19	3.3%	12	1.9%	13	2.2%
悪性リンパ腫	13	2.3%	25	4.3%	16	2.8%	13	2.1%	24	4.1%
多発性骨髄腫	-	-	5	0.9%	-	-	-	-	-	-
白血病	5	0.9%	6	1.0%	-	-	-	-	-	-
他の血液	5	0.9%	14	2.4%	10	1.7%	-	-	-	-
その他	8	1.4%	9	1.6%	9	1.6%	7	1.1%	16	2.7%
合計	559		578		574		626		582	

全体の登録件数は600件前後で推移しており、2015年症例は前年より7%減少しました。呼吸器内科の休止の影響で、肺がんの登録件数が減少していますが、内科、外科、放射線科で協力して診療を行っております。さらに専門的な知識や経験が必要であり、愛媛大学の呼吸器内科にも御協力をいただいております。

また去年から緩和ケア病床の運用を開始いたしました。自宅で療養を続けることが難しくなった患者さんや薬物療法ができなくなりベスト・サポートケアをすることになった患者さんに入っております。

がんの診療のいかなる状況においても患者さんの要望に応えるべく、診療に努めてまいります。

(がんセンター長 小林一泰)